



平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月3日

上場会社名 株式会社 サークルKサンクス 上場取引所 東・名  
 コード番号 3337 URL <http://www.circleksunkus.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中村 元彦  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理財務本部長 (氏名)山口 利隆 (TEL)03-6220-9005  
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月13日 配当支払開始予定日 平成23年11月18日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績(平成23年3月1日~平成23年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	98,561	0.3	13,293	26.3	13,159	26.9	3,221	△19.0
23年2月期第2四半期	98,292	△3.6	10,528	9.8	10,366	11.7	3,975	20.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	38 46	—
23年2月期第2四半期	47 46	—

(参考) チェーン全店売上高

24年2月期第2四半期 497,806百万円(前年同四半期増減率 7.3%)

23年2月期第2四半期 463,904百万円(前年同四半期増減率 △0.8%)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	263,812	138,167	52.4	1,649 72
23年2月期	240,027	136,672	56.9	1,631 86

(参考) 自己資本 24年2月期第2四半期 138,167百万円 23年2月期 136,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	20 00	—	20 00	40 00
24年2月期	—	20 00			
24年2月期(予想)			—	20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年3月1日~平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,320	△2.1	18,700	0.7	18,000	3.0	5,500	△23.2	65 67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期2Q	86,183,226株	23年2月期	86,183,226株
24年2月期2Q	2,431,122株	23年2月期	2,430,976株
24年2月期2Q	83,752,212株	23年2月期2Q	83,753,536株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

その他特記事項としては、チェーン全店売上高には、(株)ゼロネットワークスおよび非連結のエリアフランチャイザーの売上高は含まれておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. その他の情報 .....	5
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書 .....	8
【第2四半期連結累計期間】 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) セグメント情報等 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. 補足情報 .....	11
(1) コンビニエンスストア事業に係る商品別売上高 .....	11
(2) コンビニエンスストア事業に係る店舗数 .....	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響で、サプライチェーンの混乱や電力不足による急速な生産縮小が発生しましたが、その後、企業の生産活動は徐々に正常化に向かい、東北地域を中心とした復興需要も見られました。しかしながら、ギリシャ財政危機に端を発する欧州各国の金融市場の不安定化とともに、急速な円高や国内株安が進行し足下の景気動向は減速傾向を強めました。

このような状況の中で、当第2四半期連結累計期間の営業総収入は、加盟店からの収入の増加などにより、前年同期比0.3%増の985億6千1百万円となりました。営業利益については、営業総利益の増加とともに自営店関連経費等の削減により販売費及び一般管理費が減少したことから、前年同期比26.3%増の132億9千3百万円となり、経常利益は前年同期比26.9%増の131億5千9百万円となりました。また、四半期純利益は、減損損失や資産除去債務・震災関連損失などの特別損失を76億2千6百万円計上したことから、前年同期比19.0%減の32億2千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間より、埼玉県において「サンクス」をチェーン展開するエリアフランチャイザーであるサンクス東埼玉株式会社を連結対象子会社としております。

当第2四半期連結累計期間においては、東日本大震災発生後、東北地域を中心とした被災地における店舗の通常営業復旧、商品供給体制の再構築とともに同地域の既存店売上高前年比は高い伸び率となりました。また、全国的にも昨年10月の増税値上げによりタバコ売上が増加したほか、ファーストフードや惣菜などのいわゆる「中食」商品や、デザート・カウンターフーズなどの主力オリジナル商品の売上も好調を継続しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における既存店売上高前年比（単体ベース）は4.6%増となり、当社、連結エリアフランチャイザー6社ならびに株式会社99イチバを合わせたチェーン全店売上高は4,978億6百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

また、商品の平均値入率（単体ベース）については、ファーストフードや加工食品などのカテゴリー毎の値入率は大幅に改善したものの、低値入率商品であるタバコの売上が大幅に伸長しその売上構成比が上昇したことから、前年同期実績を0.77%ポイント下回る27.16%となりました。

営業数値実績一覧表（平成23年3月1日～平成23年8月31日）

	単体	連結エリア計	㈱99イチバ	連結合計
チェーン全店売上高（百万円）	455,190	37,378	5,236	497,806
前年同期比（%）	+5.9	+29.8	△4.0	+7.3
既存店売上前年比（%）	+4.6	—	—	—
値入率（%）	27.16	—	—	—
出店数（店）	152	17	4	173
閉店数（店）	125	7	1	133
期末店舗数（店）	5,028	463	64	5,555

※上記における連結エリア計は、サンクス西埼玉株式会社、サンクス青森株式会社、株式会社サンクス北関東、サンクス西四国株式会社、株式会社サンクス・ホクリア、サンクス東埼玉株式会社との6社の合計であります。

店舗運営面では、来店客数の増加を最大の課題として取り組みました。加盟店売上の強化策として、注力商品や大型販促企画には全国テレビCMを投入し、積極的な販促活動を行いました。また、自営店の削減を進めることで関連コストの削減を実現したほか、フランチャイズ契約満了時の契約更新率の向上を図るため、当該フランチャイズ加盟店のロイヤルティ率引下げの優遇策を実施しました。

商品開発面では、オリジナルデザート「Cherie Dolce」の更なる強化として「天使のプリン」を発売し、発売後15日間で販売数100万個を突破する大ヒット商品となりました。また、パスタ、スープなどのオリジナル商品の強化も継続して行いました。カウンターフーズ分類の強化としては、フライヤーやコーヒーマシンの導入を拡大したほか、7月には店舗で「仕上げのひと焼き」を加える「焼きとり」を発売し、同分類全体の底上げにつなげました。さらに、ユニークグループPB商品「Style ONE」を拡充したほか、菓子・加工食品などのカテゴリーについて物流効率化を行い、仕入コスト削減による商品値入率向上にも努めました。

サービス開発面では、独自のネット通販サイト「KARUWAZA ONLINE」を4月より立ち上げました。また、店頭情報端末を活用した「おみせdeツアーハン」では、豊田通商株式会社が開発する介護用品の取扱いを開始するなど、高齢者に向けた品揃えの拡大も図りました。

また、サークルKおよびサンクス店舗等における当第2四半期末時点での「ゼロバンク」ATMの設置台数は2,647台、「バンクタイム」ATMについては1,613台となりました。

（商品別の売上状況については、11ページ「コンビニエンスストア事業に係る商品別売上高」をご参照下さい）

店舗開発面では、新店投資効率の改善を重点課題として、出店ポイントの精査とともに賃料や建設費の削減により店舗収益力の向上を図りました。また、新たに「ミニ店舗」フォーマットでの出店を開始いたしました。投資コストの抑制とともに品揃えを絞り込み、駅構内や工場、オフィスビルなどの閉鎖商圏への出店を進めてまいります。当第2四半期連結累計期間における出店数は173店舗（内、みんなのイチバは4店舗）、閉店数は133店舗（内、みんなのイチバは1店舗）と40店舗の純増となりました。また、当第2四半期末店舗数は5,555店舗（内、みんなのイチバは64店舗）となり、非連結のエリアフランチャイザーを含む当社グループの合計店舗数は6,303店舗となりました。

（期末店舗数の明細については、12ページ「コンビニエンスストア事業に係る店舗数」をご参照下さい）

（通期の見通し）

通期における日本経済は、震災後の生産回復や復興需要が一巡する中、円高や株安などが実体経済に波及し、景気減速感が持続するものと思われまます。コンビニエンスストア業界における競争環境は厳しさを増しており、下期についても運営・商品・開発面での営業力強化、加盟店売上拡大のために、重点施策に対しては積極的に経費投入を行ってまいります。

店舗運営面では、マーケット特性に応じた品揃え・売場づくりを徹底させるため、新たに「立地タイプ別レイアウト提案」に取り組みます。店舗の立地条件を5パターンに分類し、各立地タイプに対応した商品推奨を行うことにより、個店ごとの仮説に基づいた売場・品揃えの多様化を図ります。また、「焼きとり」、「おいしいスープ&スープごはん」、「Cherie Dolce」など注力商品については、テレビCMを投入して販売強化を図るほか、夜間時間帯の売上・客数の向上を狙い「夜割」セールを積極的に実施してまいります。

商品開発面では、「高齢者に優しい世代別マーチャндаイジング」として、少容量・低価格惣菜の品揃えを強化するほか、ロングライフ惣菜としてユニグループのPB商品「Style ONE」の品揃えも拡充します。また、当社オリジナルブランドのデザートやパスタ、スープを引き続き強化するほか、コーヒーマシンやフライヤーの導入拡大、「焼きとり」に続く新たなヒット商品の開発により、カウンターフーズ分類のさらなる伸長を図ります。さらに、雑貨分類において自動発注システムを導入し、品切れ・チャンスロス防止とともに物流改善にも取り組んでまいります。

サービス開発面では、ネット通販サイト「KARUWAZA ONLINE」の品揃えをさらに充実させ会員獲得を図るとともに、リアル店舗とネットを融合したサービス展開により会員の相互送客、囲い込みを目指します。また、「おみせdeツアーハン」では、介護用品など高齢者に向けた品揃えをはじめ、店頭では取扱いできない多様な商材の開拓に取り組んでまいります。さらに、会員数約113万人の「カルワザクラブ」を強化するため、交通系マネー利用者の会員化促進、パートナー企業の会員組織との連携も進めてまいります。

営業数値計画一覧表(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

	単体	連結エリア計	㈱99イチバ	連結合計
チェーン全店売上高（百万円）	882,640	72,365	10,361	965,360
前年同期比（%）	+3.2	+25.6	△2.0	+4.6
既存店売上前年比（%）	+1.3	—	—	—
値入率（%）	27.42	—	—	—
出店数（店）	315	33	5	353
閉店数（店）	260	19	3	282
期末店舗数（店）	5,056	467	63	5,586

※上記における連結エリア計は、サンクス西埼玉株式会社、サンクス青森株式会社、株式会社サンクス北関東、サンクス西四国株式会社、株式会社サンクス・ホクリア、サンクス東埼玉株式会社の6社の合計であります。

通期の連結業績見通しにつきましては、営業総収入は1,883億2千万円(前期比2.1%減)、営業利益は187億円(同0.7%増)、経常利益は180億円(同3.0%増)、当期純利益は55億円(同23.2%減)を見込んでおります。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### (資産)

流動資産は、有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べて15.4%増加し、1,217億9千4百万円となりました。

固定資産は、リース資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べて5.6%増加し、1,420億1千7百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて9.9%増加し、2,638億1千2百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて17.6%増加し、958億4千6百万円となりました。

固定負債は、「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴う資産除去債務の計上などにより、前連結会計年度末に比べて36.6%増加し、297億9千8百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて21.6%増加し、1,256億4千5百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.1%増加し、1,381億6千7百万円となりました。

(注) 第1四半期連結会計期間より、株式取得によりサンクス東埼玉株式会社を新たに連結の範囲に含めております。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

経営環境等を勘案し、平成23年5月13日公表の平成24年2月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成23年9月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

- ・固定資産の減価償却費の算定方法  
定率法を使用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
- ・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法  
法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。  
繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測を利用する方法によっております。

#### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益が176百万円、経常利益が76百万円、税金等調整前四半期純利益が4,230百万円それぞれ減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は6,732百万円であります。

#### ②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月16日)に基づく「財務諸表規則等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	74,028	68,932
加盟店貸勘定	2,244	3,037
有価証券	15,003	7,027
たな卸資産	1,773	1,843
繰延税金資産	849	1,327
未収入金	10,425	11,345
その他	17,615	12,249
貸倒引当金	△145	△191
流動資産合計	121,794	105,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,636	37,207
工具、器具及び備品（純額）	3,503	3,611
土地	8,259	8,295
リース資産（純額）	23,099	18,892
その他（純額）	41	125
有形固定資産合計	74,541	68,133
無形固定資産		
ソフトウェア	6,027	6,643
ソフトウェア仮勘定	72	279
のれん	2,439	769
その他	3,525	3,531
無形固定資産合計	12,064	11,223
投資その他の資産		
投資有価証券	2,660	2,523
繰延税金資産	4,746	3,148
差入保証金	42,028	43,569
その他	6,812	6,796
貸倒引当金	△836	△939
投資その他の資産合計	55,412	55,099
固定資産合計	142,017	134,455
資産合計	263,812	240,027



(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	41,885	33,706
加盟店借勘定	3,557	2,244
未払金	7,234	6,464
未払法人税等	4,181	4,342
預り金	31,665	27,561
賞与引当金	808	1,448
その他	6,512	5,764
流動負債合計	95,846	81,533
固定負債		
リース債務	10,863	9,030
退職給付引当金	119	70
資産除去債務	6,617	—
長期預り保証金	9,760	10,160
長期リース資産減損勘定	1,091	995
その他	1,346	1,564
固定負債合計	29,798	21,821
負債合計	125,645	103,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,380	8,380
資本剰余金	36,090	36,092
利益剰余金	98,281	96,738
自己株式	△5,032	△5,032
株主資本合計	137,720	136,179
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	447	493
評価・換算差額等合計	447	493
純資産合計	138,167	136,672
負債純資産合計	263,812	240,027

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
営業収入		
加盟店からの収入	51,851	54,954
その他の営業収入	6,157	5,999
営業収入合計	58,009	60,954
売上高	40,282	37,606
営業総収入合計	98,292	98,561
売上原価	30,834	28,768
営業総利益	67,457	69,792
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	7,936	8,188
賞与引当金繰入額	860	808
退職給付引当金繰入額	432	415
賃借料	25,371	25,291
減価償却費	5,589	6,143
その他	16,737	15,653
販売費及び一般管理費合計	56,928	56,499
営業利益	10,528	13,293
営業外収益		
受取利息	246	194
受取配当金	75	56
受取補償金	104	90
その他	68	99
営業外収益合計	495	440
営業外費用		
支払利息	124	171
解約損害金	490	369
貸倒引当金繰入額	—	6
その他	42	26
営業外費用合計	657	574
経常利益	10,366	13,159

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	29	81
解約損害金受入	—	115
貸倒引当金戻入額	27	66
段階取得に係る差益	—	258
その他	—	20
特別利益合計	56	541
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	85	59
減損損失	2,843	2,635
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,028
災害による損失	—	829
その他	94	73
特別損失合計	3,023	7,626
税金等調整前四半期純利益	7,399	6,074
法人税、住民税及び事業税	4,041	3,942
法人税等調整額	△617	△1,088
法人税等合計	3,424	2,853
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,221
四半期純利益	3,975	3,221

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

全セグメントの営業総収入の合計、営業利益の合計額に占めるコンビニエンスストア事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

在外連結子会社および在外支店がないため記載していません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

海外売上高がないため記載していません。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)

当社グループは、コンビニエンスストア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) コンビニエンスストア事業に係る商品別売上高

商品別	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)			当第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)			前連結会計年度 (自平成22年3月1日 至平成23年2月28日)		
	金額	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前期比
	百万円	%	%	百万円	%	%	百万円	%	%
〈㈱サークルKサンクス 他〉									
ファーストフード	73,472	17.1	97.5	75,051	16.5	102.1	144,726	16.9	99.5
生鮮食品	55,604	13.0	96.4	54,258	11.9	97.6	107,387	12.6	98.7
加工食品	126,918	29.5	97.4	124,649	27.4	98.2	244,315	28.6	98.1
食品小計	255,996	59.6	97.2	253,959	55.8	99.2	496,429	58.1	98.7
非食品	146,215	34.0	95.4	173,452	38.1	118.6	302,647	35.4	101.3
サービス	27,437	6.4	108.6	27,779	6.1	101.2	55,932	6.5	111.3
計	429,648	100.0	97.2	455,190	100.0	105.9	855,010	100.0	100.3
〈エリアフランチャイザー 他〉									
ファーストフード	5,537	16.1	137.6	6,593	15.5	119.1	10,903	16.0	138.8
生鮮食品	5,096	14.9	126.3	5,683	13.3	111.5	9,909	14.5	126.8
加工食品	10,881	31.8	130.7	12,127	28.5	111.4	21,013	30.8	129.8
食品小計	21,515	62.8	131.3	24,404	57.3	113.4	41,826	61.3	131.3
非食品	11,267	32.9	134.1	16,260	38.1	144.3	23,366	34.3	141.8
サービス	1,472	4.3	168.3	1,950	4.6	132.4	2,982	4.4	163.2
計	34,255	100.0	133.5	42,615	100.0	124.4	68,174	100.0	135.9
合計	463,904	—	99.2	497,806	—	107.3	923,185	—	102.3

(注) 1 数量は品目が多岐にわたり、表示することが困難かつ適切でないため記載を省略しております。

2 「エリアフランチャイザー 他」の項目には、㈱ゼロネットワークスおよび非連結のエリアフランチャイザーは含まれておりません。

なお、㈱99イチバの商品別売上高を含めております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) コンビニエンスストア事業に係る店舗数

(単位：店)

地域別	チェーン全店店舗数			
	(平成22年8月31日現在)	(平成23年8月31日現在)	比較増減	(平成23年2月28日現在)
<㈱サークルKサンクス>				
北海道	195	191	△ 4	191
青森県	106	108	2	108
岩手県	89	90	1	90
秋田県	103	95	△ 8	95
宮城県	110	103	△ 7	110
山形県	49	48	△ 1	49
福島県	22	21	△ 1	21
茨城県	53	54	1	53
群馬県	13	13	—	14
千葉県	130	131	1	132
埼玉県	30	29	△ 1	30
東京都	592	588	△ 4	590
神奈川県	330	335	5	334
新潟県	97	98	1	98
富山県	68	71	3	68
石川県	106	113	7	110
福井県	45	42	△ 3	43
長野県	128	132	4	132
岐阜県	255	262	7	258
静岡県	287	297	10	290
愛知県	966	982	16	973
三重県	224	227	3	223
滋賀県	47	47	—	46
京都府	105	109	4	107
大阪府	403	402	△ 1	400
兵庫県	171	168	△ 3	170
奈良県	47	45	△ 2	47
和歌山県	22	21	△ 1	22
岡山県	130	129	△ 1	126
広島県	47	48	1	48
福岡県	20	29	9	23
計	4,990	5,028	38	5,001

(単位:店)

地域別	チェーン全店舗数			
	(平成22年8月31日現在)	(平成23年8月31日現在)	比較増減	(平成23年2月28日現在)
<エリアフランチャイザー他>				
サークルケイ四国㈱	165	169	4	168
サンクス青森㈱	68	72	4	70
サンクス西埼玉㈱	87	92	5	88
サンクス東埼玉㈱	72	71	△ 1	70
サンクス東海㈱	115	120	5	118
サンクス京阪奈㈱	102	103	1	102
サンクス西四国㈱	81	81	—	81
㈱サンクスアンドアソシエイツ東四国	120	121	1	122
㈱サンクス・ホクリア	102	100	△ 2	100
㈱サンクスアンドアソシエイツ富山	77	—	△ 77	75
㈱サンクス北関東	43	47	4	44
南九州サンクス㈱	109	108	△ 1	108
㈱シー・ヴィ・エス・バイエリア	127	127	—	127
㈱99イチバ	64	64	—	61
計	1,332	1,275	△ 57	1,334
サークルKサンクスグループ合計	6,322	6,303	△ 19	6,335

(注) 株式会社サンクスアンドアソシエイツ富山とのエリアフランチャイズ契約は平成23年7月に終了しております。